

～旧北上川かわまちづくり～ 第3回「南浜・門脇2, 3丁目地区」市民部会開催概要

- ・平成30年3月20日（火）門脇東復興住宅にて、南浜・門脇2,3丁目地区の堤防の整備等により新たに生まれる水辺空間について地元の方々と意見交換を行う第3回南浜・門脇2,3丁目地区市民部会の「舟だまりの会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、坂路・階段など施設のレイアウトや水際のデザインなど堤防の整備内容と、石巻南浜津波復興記念公園や防災マリーナなど関連事業に関する説明を行った後、利活用をテーマに、ワークショップ形式による意見交換を行いました。

<第3回「南浜・門脇2,3丁目地区」市民部会>

- 日時：平成30年3月20日（火）18時30分～20時30分
- 場所：門脇東復興住宅 集会所
- 出席者：参加人数 20名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市
宮城県東部土木事務所、石巻港湾事務所



参加者と事務局で集合写真



ワークショップの成果を発表



河川沿いの空間の利活用についてワークショップ



<当日の主な意見>

【新たに生まれる河川空間の利活用について】

- ・川開き祭りの花火大会の際に、町内で集まって観覧できる場所がほしい。
- ・ランニングやサイクリングで河口部やまちなかを周遊するコースがあるとよい。
- ・石巻は船で発展したので、ボートやカヌーで遊べるようにしてほしい。
- ・昔は堤防がなく川で遊んでいた。子供たちが水辺で遊べるような場所がほしい。また日和大橋右岸下流には昔砂州があったので、ここで釣りや水遊びがしたい。
- ・地域活性化には外から来訪者を呼ぶ必要があり、飲食店や名物があるとよい。

【整備に関する意見】

- ・堤防は防災面のみならず、景観面も考慮して整備してほしい。
- ・堤防ができると川が見えなくなる。
- ・トイレや駐車場が必要である。駐車場は石巻南浜津波復興祈念公園内に十分あるため、周辺の観光の拠点になる。
- ・恩賜燈は河口部の元にあった場所に再設置してほしい。
- ・堤防と石巻南浜津波復興祈念公園をつなぐ動線をつくってほしい。
- ・河口部であり波浪や干満の影響を受けるため、転落した際の浮輪や階段の設置、高潮の際の警報やサインなど、安全対策を行ってほしい。
- ・整備が完成してから気づくこともあるので、今の時点で全て決めずに便利に使える余白を残しておき、完成後も手直しできるとよい。また余白をどう活かすかは地域住民の裁量による。そのためにもこのような会を完成後も継続してほしい。

【利活用の際に気をつけることについて】

- ・花火大会のあとは有志で清掃活動を実施する。
- ・植栽は住民が参加できるのでよいが、時間が経つと手入れが大変である。
- ・投げ釣りは歩行者の邪魔になる恐れがある。
- ・航路内のカヌー利用等のルールづくりが重要である。

～旧北上川かわまちづくり～ 第3回「井内・藤巻地区」市民部会開催概要

- ・平成30年2月18日（日）井内会館にて、井内・藤巻地区の堤防の整備等の整備状況のご報告と、新たに生まれる水辺空間について地元の方々と意見交換を行う第3回井内・藤巻地区市民部会の「かっぱの会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、現在の石積護岸の保全や、地区の特徴である「井内石」を用いた水辺空間のデザインなど、堤防の整備内容と現在施工中の工事に関する説明を行った後、当地区の河川空間の利活用をテーマにワークショップ形式による意見交換を行いました。

＜第3回「井内・藤巻地区」市民部会＞

- 日時：平成30年2月18日（日）18時30分～20時30分
- 場所：井内会館
- 出席者：参加人数 27名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市、宮城県東部土木事務所

＜当日の主な意見＞

【新たに生まれる河川空間の利活用について】

- ・稲井郵便局付近（左岸4.5k）で毎年どんと祭を行うため、3～5m四方のスペースと、消防車の進入用の坂路を確保してほしい。
- ・石碑群はかっぱ祭りで使うため、現計画の通り手をつけずに残してほしい。
- ・石碑群の辺りはスズキがよく釣れるので、釣りがしやすいよう、捨石護岸上に張り出したステージがほしい。
- ・元々人が住んでいた場所であったことを残すため、藤巻地区の石碑を保存しているのので、広場スペースに設置してほしい。
- ・井内大瓜地区にも広場スペースがあるとよい。
- ・石積みを残す区間をもう少し延ばしてほしい。
- ・どんと祭やバーベキューなどの際の資材運搬や、他地区からの利用者の利便性を考えると、利活用のためには駐車場が必要である。
- ・夜間の安全対策のため、広場スペースなどに街灯があるとよい。
- ・散歩やランニングのための動線を確保してほしい。

【利活用の際に気をつけることについて】

- ・井内石は濡れると苔が生えて滑るので、注意喚起が必要。
- ・子供などの利用者の安全を考えて、注意書きなど転落対策が必要。

【その他】

- ・藤巻地区の県道は日陰になるため、路面凍結対策を行ってほしい。
- ・山からの排水対策として、ポンプ場による排水をきちんと行ってほしい。
- ・稲井郵便局付近（左岸4.5k）に津波到達表示がほしい。
- ・旧真野川について、津波の遡上や台風時の冠水の恐れがあるので、できるだけ早く埋め立てを行ってほしい。



参加者と事務局で集合写真



地区会長さんからのご挨拶



河川沿いの空間の利活用についてワークショップ



～旧北上川かわまちづくり～ 第3回「中央・門脇1丁目地区」市民部会開催概要

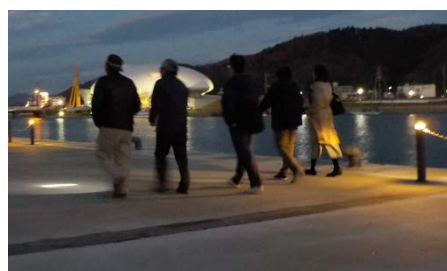
- ・平成29年11月23日（木）石巻中央公民館にて、中央・門脇1丁目地区の堤防の整備等により新たに生まれる水辺空間について地元の方々と意見交換を行う第3回中央・門脇1丁目地区市民部会の「中央門脇 川と未来の会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、「いしのまき元気いちば」や「かわまち交流センター」など観光交流施設の整備が進む当地区の河川空間について、利活用をテーマに、ワークショップ形式による意見交換を行いました。また意見交換後には、川沿いのテラスの照明の様子を、希望者で現地見学をしました。

<第3回「中央・門脇1丁目地区」市民部会>

- 日時：平成29年11月23日（木）13時30分～16時30分
- 場所：石巻中央公民館
- 出席者：参加人数 13名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市
宮城県東部土木事務所、石巻港湾事務所



参加者と事務局で集合写真



川沿いのテラスの照明を現地で確認



河川沿いの空間の利活用についてワークショップ



<当日の主な意見>

【新たに生まれる河川空間の利活用について】

- ・日常の使い方として散歩したり、座って川を眺めることが気持ちよく出来ることが大事である。また、川辺なので歩くだけでなく、マラソンやサイクリングのようなスポーツ的なことが出来たら、魅力的な使い方になる。
- ・イベントは人が集まるものとして、石巻市内で今年夏にリボンアート・フェスティバルが開かれたが、その様なアートイベントの他にも音楽会、展示会、朝市など月替わり週替わりで人が集まる工夫が必要である。
- ・昔あった渡し船の復活(中瀬にも発着)、川で泳ぐ、貸しボートなど歴史を振り返る工夫したイベントがあるよい。

【利活用のためあったらよいもの】

- ・子供の転落防止のため柵等が欲しい。事故防止の何らかの対策は必要である。
- ・イベントを開催する上で洗い場(水道)が必要である。
- ・高齢者や障害者を考慮して休む所や、点字ブロックが必要である。
- ・トイレは維持管理が大変だが必要である。
- ・地震時に対して避難経路を示す看板(夜間でも分かり易いもの)は必要である。
- ・外国の方も来ると思うので外国語表記の案内看板が必要である。

【利活用の際に気をつけることについて】

- ・イベント等の利活用は堤防側のみでなく、中瀬に常設ステージを設けるなど、中瀬までを含めた一体空間として考えていく必要がある。
- ・住んでいる人が楽しむ主体と考えれば、町内会の皆さんに加え、復興住宅等で新たに住人になった皆さんも参加し易いような体制作り(サポーター制度のようなもの)が重要であり、また小中高の学校とも連携することも大事である。

～旧北上川かわまちづくり～ 第3回「住吉・大橋地区」市民部会開催概要

- ・平成29年10月14日（土）石巻市住吉会館において、住吉・大橋地区の堤防等の整備や新たに生まれる水辺空間等について、地元の方々と意見交換を行う「第3回住吉・大橋地区市民部会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、住吉小学校や大嶋神社の川側の整備内容と現在施工中の工事に関する報告を行い、新たに生まれる河川空間の利活用についてワークショップを行いました。また、かわまちづくりの拠点として整備が予定されている箇所を徒歩で見学していただくとともに、船に乗って川の中から旧北上川や地区の様子をご覧いただきました。

<第3回「住吉・大橋地区」市民部会>

- 日時：平成29年10月14日（土）13時30分～16時30分
- 場所：石巻市住吉会館
- 出席者：参加人数 16名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市



参加者で集合写真



乗船し川の中から堤防盛土箇所を見学



整備の内容や河川空間の利活用についてワークショップ



<当日の主な意見>

【河川空間の整備に関する意見】

- ・雄島や雄島にあった四阿、巻石が被災当時のままである。地域の歴史なので、復旧してほしい。
- ・堤防や住吉神社の高さなど基本的な計画はよい。
- ・住吉小学校前の干潟については、できるだけ自然に近い形で、かつ安全に活動できるように整備してほしい。
- ・干潟空間上流の排水ポンプの影響についても考慮すべき。
- ・難しいかもしれないが、住吉公園近くに駐車場があるとよい。
- ・夏祭りやどんと祭りがやりやすいように整備してほしい。
- ・夜でも来やすいように、照明があるとよい。
- ・かわどは昔のように住民による利用・管理がなされないことが想定され、単に同じ形を復元するのは滑るリスク等危険性が高い。

【河川空間の利活用やその際に気をつけること】

- ・ゴミ拾いはイベントにして皆で行うとよい。
- ・テラスは散歩やマラソンなど、健康づくりに活用したい。
- ・干潟は小学校では生物教室や防災教育に活用したい。
- ・干潟の維持管理は、小学校のほかに、公園掃除を行っている方々に協力をお願いしてはどうか。
- ・トイレは地域で維持管理ができるか否かを考慮した上で設置するか決めた方がよい。

～旧北上川かわまちづくり～ 第4回「川口・湊地区」市民部会開催概要

- ・平成29年7月23日（日）石巻市総合福祉会館みなと荘において、川口・湊地区の堤防等の整備や新たに生まれる水辺空間等について、地元の方々と意見交換を行う「第4回川口・湊地区市民部会」を開催しました。
- ・今回の市民部会では、拠点地区の整備内容と現在施工中の工事に関する報告を行い、新たに生まれる河川空間の利活用についてワークショップを行いました。また、築堤が進む湊地区の工事現場を見学し、堤防に上って堤防の高さや川への眺望を体験していただきました。

＜第4回「川口・湊地区」市民部会＞

- 日時：平成29年7月23日（日）13時30分～16時30分
- 場所：石巻市総合福祉会館みなと荘
- 出席者：参加人数 15名
- 事務局：北上川下流河川事務所、石巻市、宮城県東部土木事務所



参加者で集合写真



堤防盛土箇所の現地見学会



河川空間の利活用についてワークショップ



＜当日の主な意見＞

【新たに生まれる河川空間の利活用について】

- ・ランニングや散歩がしたい
- ・釣りがしたい
- ・スポーツやバーベキューがやりたい
- ・駅や市街地と結ぶサイクリングコースがほしい
- ・周遊コースや地区の歴史等を伝えるサインがほしい
- ・イベントの実施を考えると水道とトイレが必要
- ・イベントは中瀬や中央地区で行い、左岸側は地区住民に愛される場所にしてほしい

【利活用の際に気をつけることについて】

- ・トイレ等の維持管理は、町内会で役割分担する体制を作れば可能なのではないかと
- ・使った人が掃除するようにマナー啓発が重要
- ・清掃活動など行う際には地域のリーダーが重要
- ・植栽はオーナー制度を活用するとよい。
- ・子供たちに愛される空間であるのが大事。学校との連携や父兄との意見交換が必要。